

**2月28日 農地の多面的機能維持活動
共同作業で農地を守ろう!**

深川～広瀬間の道路で花植え作業があり、菊之池小児童や市民など約150人が参加しました。菊池市土地改良区主催で、農水省の多面的機能支払制度を活用。参加者はパンジーやナデシコの苗約6,000株を植栽。農業用水の水質検査も行いました。参加者は「これからの農地維持は地域全体で協力していくことが大事。自分たちの力でやっていくという意識を高めていきたい」と語りました。



花を植える参加者

**3月12日 いつまでもお元気で
隈府小児童がサクラソウを贈呈**

隈府小学校（宮川淳一校長）4年生が、高齢者福祉施設の利用者にサクラソウ150鉢を贈呈しました。贈ったサクラソウは3種類で児童らが栽培。総合的な学習の一環として、思いやりの心を育むことを目的に学校近隣の公共施設などへ毎年届けています。鉢を受け取った利用者は「きれいな花をありがとうございます。皆さんから元気をいただきました」と感謝を述べました。



施設利用者にサクラソウを手渡す児童たち

**3月14日 城山再生プロジェクト「城山の日」
きれいな公園で花見を楽しんで**

菊池公園周辺の清掃作業を行うボランティアイベント「第7回城山の日」が開催され、市内外から約300人が参加しました。桜の開花シーズンを控え、観光客にきれいな公園で花見を楽しんでもらおうと菊池さくら基金運営委員会が主催。菊池公園周辺の清掃やごみ拾い、桜への肥料やりなどを行いました。参加者は「観光客に気持ちよく花見を楽しんでもらえたら」と話しました。



家族連れなど大勢の人が参加しました

**2月15日 農商工連携プロジェクト
肥後小豆で和菓子作り**

県特産品の肥後小豆を使った和菓子作りが片角の菓子工場であり、生産者や菊池農高生など12人が参加しました。農商工の連携プロジェクトで、肥後小豆は県の補助事業で耕作放棄地を活用して市民が栽培。和菓子作りは職人が手ほどきし、酒饅頭、おはぎを作りました。参加した生産者は「地元の農産物を使えば地産地消になるしブランド化もできて一石二鳥」と話しました。



和菓子の作り方を学ぶ参加者の皆さん

**3月11日 泗水町住吉日吉神社
「三十六歌仙」絵馬奉納**

住吉日吉神社に「三十六歌仙」の絵馬36枚が奉納され、拝殿内に掲げられました。渡邊光夫さん（南住吉）の寄付金を基に、泗水町に工房を構える日本画家の戸田東蔭さん（熊本市）が約3カ月で制作。巻物を見本に紀貫之や小野小町を繊細な筆遣いで色鮮やかに描かれており、3月29日の遷宮祭で披露されました。同神社では昨年に戦国時代末期作とされる絵馬27枚も見つかっています。



掲げられた絵馬。左から戸田さん、坂本経昌宮司、渡邊さん夫妻

**3月13日 NTTグループ
電話お願い手帳などを寄贈**

NTTグループから「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便（ファクシミリ送信用紙）」が本市に寄贈されました。この寄贈は昭和58年から実施されており今年で33年目。耳や言葉が不自由な人の日常生活が便利になるようにと贈られています。福祉課と各総合支所民生課に置いてありますのでご利用ください。「電話お願い手帳」をお持ちの人を見かけたときにはご協力をお願いします。



江頭市長㊟に手帳を渡すNTT西日本山鹿・菊池営業所の後藤民夫所長

**2～3月 菊池さくら千年プロジェクト
植樹の輪が広がっています! 日本一の桜の里づくり**

「菊池さくら千年プロジェクト」の一環として、市内7カ所で植樹がありました。2月22日に合志川河川沿い21本、菊池川堤防32本。3月5日に富納坂8本。3月15日に迫間川沿い11本、上内田川堤防29本、花房坂38本。3月21日に上住吉30本、計169本を植樹。参加者は「自分の子どものようで、成長が楽しみ」「機会があれば次回もぜひ参加したい」などと話していました。このプロジェクトは、日本一の桜の里を目指して始めたもので、主に河川堤防や道路沿いへの桜の植樹と管理を行っています。



高永区



花房区



加恵・本村区



下赤星区



富納区



高田区



上住吉区
苗木は坂本樹苗園（坂本信介代表・写真右端）からの寄贈

